

「新時代の若者が語るタイ」

順天堂大学国際教養学部

新舟 亜理沙

会場にお集まりの皆様、私は新舟亜理沙と申します。本日「新時代の若者が語るタイ」というトピックについてスピーチする機会を頂いた事を大変光栄に思います。

私は、幼い頃から母の母国の言語として親しみをもって聞いてきたタイ語を正式に学ぶため、2022年にチェンマイ大学で1年間留学しました。その経験のなかで、たくさんの印象的な出来事がありました。まず、最初に紹介させていただくのは、食べ物に関する話です。タイは食べ物が豊富な国で、様々な選択肢があり、価格も非常に手頃です。チェンマイ大学で留学していた間、ガパオライスやクイティアオ(米麺)など、多種多様な食事をするのがとても楽しかったです。

次は、生活に関するお話をします。私はタイでの生活は気楽で、ストレスもなく、細かい事をあまり気にする必要もありませんでした。Tシャツや短いズボン、サンダルを履いて友人と夕食を食べに行きました。外出時に、日本にいる時のように服装を気にする必要はありませんでした。

続いて、私が最も感銘を受けた点は、タイの人々のおもてなしの心についてです。私が知っているタイ人の方は、教員、親戚、そして友人を問わず、皆親切で、私を助けるために喜んでアドバイスをしてくれました。その心のこもった態度に、私は深く感動しました。

大学では、LGBTQの学生がとても多い印象を持ちました。タイの社会では、個人の性的指向に関して寛容です。LGBTQの学生は自分自身を表現し、幸せに、そして自由に生活し、周囲の人々に受け入れられています。これらの事象は、賞賛に値するものであると考えました。

その他にも、タイ人の学生の多くが政治に関して熱心である点が意外で驚きました。私が留学していた間にも全国規模の総選挙があり、多くの学生が投票していました。

素晴らしいことが多い一方、タイには今後の課題もあると考えます。例えば、タイの人々は交通ルールをそれほど意識していないようでした。道路はとても怖く、危険に感じました。横断歩道を渡る人の為に、車が停車することは滅多にありません。道路を横断するときは、十分注意する必要があります。

また、一般的な公共の場で、多くの野良犬や野良猫を目にしました。それを見ると、とてもかわいそうに思いますし大変危険です。関係団体の方などに野良犬や野良猫の避妊手術の促進や、彼らのための専用の居場所を設けるよう提案したいです。

以上は、私が1年間のチェンマイ留学を通して、タイに関して抱いた見解です。私はタイの人々に愛着を持ち、暖かい雰囲気やタイの様々な環境に親しみを感じています。そのため、タイを訪れるたびに幸せで楽しい気持ちになります。また、私は留学を通じて、より一層、母の母国であるタイとの繋がりが強くなり、日本とタイの架け橋として生きたいと思いました。そして最後に、タイの人々が幸せで、質の高い生活を送り、あらゆる危険から無事であるよう心から願っています。

ご清聴いただきありがとうございました。